

(学校運営協議会・報告様式)

令和4年度 第5回 鼓ヶ浦小学校 学校運営協議会兼学校保健委員会
実施報告書

1 日 時 令和5年1月19日(木) 15:30～18:15

2 場 所 高学年 図書室

3 学校保健委員会

・養護より

身体測定等の結果から本校児童の傾向として、視力が低い児童が多い。スマートフォン等メディアの上手な使い方について家庭に発信していきたい。また、虫歯の多い児童も多いので、昨年度は全学年で虫歯についての保健指導を行ったが、実践に結び付けることができなかった。指導内容を見直し、子どもの生活につなげていきたい。本年度は保健指導では睡眠について指導した。今後も継続して睡眠が果たす役割を伝えながら、睡眠時間についての意識を高めていきたい。

保健室には病気・怪我の他にも相談を目的に来室する児童もいる。子どもたちが自分の力でそれぞれの課題を乗り越えられるように支援していきたい。

・歯科医より

どのようなものを「虫歯」とよぶのか、虫歯になりやすい状況とはどのような状況なのか身近な食物に含まれる糖の種類や量を例にお話しいただいた。また、唾液が果たす役割についても教えていただいた。

・薬剤師より

学校における換気の基準や学校施設における効果的な換気の仕方についてお話いただくとともに、今年度実施していただいた浮遊粉じん検査の結果について報告いただいた。

4 学校運営協議会 協議内容

(1) 令和4年度 児童・保護者アンケートの結果について

子どもが主体的に学びに向かえるよう授業改善をしていく。地域としても公民館行事等で子どもがしたいことを伸ばしていけるような企画をしていきたい。生まれ育った場所に愛着と誇りが持てるよう、地域の自然を生かした授業や行事を計画してはどうか。

保護者アンケートの結果から学校の様子が家庭に十分にお伝えできていなかったことがわかった。来年度は感染症対策しながらできるだけ行事を戻していくとともに、情報発信の在り方も見直していく。

将来なりたい職業や仕事がある子が少ない。子どもたちと話していると小

さな子でも努力しても希望の仕事につけないと希望をもてない子がいる。夢を叶えた人の話を聞く等，出会い学習を取り入れてはどうか。

（２）令和４年度鼓ヶ浦小学校 学校自己評価について

学力調査やみえスタディチェックの結果が低い。同じ子どもの経年変化を見ながら原因を考え，対処していく必要がある。家庭学習を行うときに分からない問題等があり，一人では解決できない子もいるのではないかな。保護者がどのように関わっていくかも大切。ゲーム等をする時間が多くなったり，調べたいことがあるとスマートフォン等ですぐに調べることができたりと子どもを取り巻く環境や学習方法が変わってきている。これからの社会はネットとの共存が余儀なくなることからも，使用方法について考えていく必要もある。

地域連携については，地域人材や地域の自然と触れ合う機会をもち，地域への愛着を育んでいってはどうか。

５ 情報交換会

- ・公民館より
 - ・今年度は宿題をしに来館する子がいなかったことが残念。日常的に訪れる子を増やしたい。
- ・守る会より
 - ・毎朝登校指導をしているが，子どもの送迎の車と登校する児童とがぶつかりそうになって危険なときがある。学校で送迎のルールを決めて周知してほしい。
 - ・あいさつを積極的にできない子がいる。
- ・おじさんセミナーより
 - ・公民館の文化祭の出品をお願いしたい。
 - ・ミニ門松づくりを地域の伝統として継続していきたい。今年度は参加者が少なかったなので，参加を呼びかけていきたい。
- ・教育支援課より
 - ・中学校の問題行動が減ってきている一方で小学校での問題行動が増えてきている。しかし，地域の方が日常的に学校にいる学校は荒れにくい。地域の方とのふれあいが子どもの健全な成長につながる。
 - ・小学校だけでなく，中学校を含め９年間で地域で見守る方向に進んでいる。学校運営協議会も中学校区で行っている校区もある。

６ その他

次回の開催の案内